

## 競技注意事項（大会申し合わせ事項）

### 1 競技規則について

2020-2021 World Para Athletics (WPA) 競技規則及び World Athletics (WA) 競技規則（パラリンピック種目以外）「World Para Athletics 承認競技会における広告規程」（この規程に記載されていない広告に関するものは WA 規程に準ずる）並びに本競技会要項及び競技注意事項（大会申し合わせ事項）により実施する。尚、本競技会においては WA/WPA どちらの広告規程でも可とする。

但し、基準を超える商標についてはテープ等で隠すことになるので、その旨了承のこと。

本競技会期間中における競技開始前の本競技場での練習においても同様とする。

最新の競技規則を把握するのは出場する競技者の義務である。最新の競技規則は日本パラ陸上競技連盟のホームページで必ず確認すること。

[jaafd.org/committee/committee2/20201106-001-176](http://jaafd.org/committee/committee2/20201106-001-176)

### 2 受付及びT I C（Technical Information Center）について

- ・ 競技者受付は、正面エントランス外で行う。
- ・ T I Cは、競技者受付の隣に設置する。
- ・ 代理人又は支援者単独での受付は認めない。
- ・ 検温、体調チェックを終えた競技者、支援者（コーチ）には、リストバンドが渡されるので手首に装着し、競技場内では常に着用すること。リストバンドの着用がない者は、競技場内（スタンド・第2陸上競技場・コンコース）には入ることができないので注意すること。
- ・ リストバンドの紛失・破損による再発行はしない。
- ・ 受付での密集を避けるため、自身の競技開始3時間以上前の受付は控えること。
- ・ T I Cで、チーム（個人）に1枚「チーム代表者 I D」を渡す。競技に対する抗議の際に必要となる。

### 3 練習会場について

- ・ 練習会場は、第2陸上競技場（8：00～競技終了時刻）を利用すること。密にならないことを心掛け、競技役員の指示に従い、事故や怪我のないように十分留意すること。
- ・ 密を避けて待機場所を設けることができる。
- ・ 入退場口は一個所のみとする。リストバンド装着しての入場とする。
- ・ フィールド種目については、競技前の公式練習のみとする。なお、投てき種目については、競技開始前、最低2度の練習投てきを保証する。

### 4 各種書類について

- ・ 全ての申請書類はT I Cにて配布する。
- ・ 提出先

#### ① T I C

「欠場届」「リクエスト・フォーム（ルールにないアシスタントの入場等）」「上訴申立書」  
「プログラム訂正用紙」「持ち込み投てき器具検査依頼書」

② 最終点呼役員（入退場エリア）

「重複出場届」「補助申請書（スターティング・ブロック設置申請、マーカー設置申請等）」  
「リレーオーダー用紙」

5 招集について

- (1) T I C付近に「招集リスト」を掲示する。出場選手は自身の名前に○を付ける。
- (2) T I C付近に「シューズチェックカウンター」を設ける。招集リストに○を付けた後、チェックを受けること。

※ (1)・(2) →第2陸上競技場でアップ→最終点呼。

- (3) 入退場エリア（第4ゲート・100mスタート近くのゲート）で、トラック種目は競技開始20分前に、フィールド種目は30分前に点呼を受ける。

種目	最終点呼時刻
トラック競技	20分前
フィールド競技	30分前

(1)・(2)を終え、アップ後、第4ゲートの入退場エリアから入場し、室内走路で最終点呼を受け、誘導により、スタート地点に移動する。  
競技の運営状況により招集時刻が変わる可能性がある。情報は全て陸連 Facebook ページで知らせる。

[「http://www.facebook.com/jidaf.koho/」](http://www.facebook.com/jidaf.koho/)

- (4) 入退場エリアでは、胸・背のアスリートビブス、腰ナンバー標識、スパイク、衣類・バックなどの商標チェックを受ける。また、競技規則7条3(b)により、携帯電話等の機器は競技場内に持ち込むことはできない。必ず支援者に預けること。
- (5) 代理人による点呼は認めない。欠場する場合は、競技開始30分前までに欠場届をT I Cに提出すること。欠場届が提出されず招集完了時刻に遅れた場合は、当該種目を欠場したものとする。（競技規則5条3）
- (6) 競技種目が重なり一方の種目の招集完了時刻に間に合わない場合は、最終点呼役員（入退場エリア）に重複出場届を提出し、直接競技場所に集合すること。その際、当該種目の審判にその旨を伝え、審判の指示に従うこと。
- (7) リレーオーダー用紙は、招集完了時刻の1時間前までに最終点呼役員（入退場エリア）に提出すること。なお、提出後の変更については、招集完了時刻までに、総務・医務係の判断がない限り認められない（出場する競技者の変更のみが認められ、編成（走る順番）の変更は認められないので注意）。  
リレーオーダー用紙提出時に、腰ナンバーカードを渡す。
- (8) リレー競技においては、出場する4名が揃って招集を済ませ、チームとして同一のユニフォームを着用すること。

6 競技エリアへの入退場について（競技者）

- (1) 入退場エリアにて、競技開始20分前に点呼を行う（時間厳守）。
- (2) 入退場エリアへの入場は、リストバンド着用の選手のみとする。

- (3) 荷物の管理は競技者自身で行うため、記名した大きめのビニール袋を各自用意すること。
- (4) 競技エリアへの入場および競技終了後の退場は、競技役員の指示による。
- (5) 退場はフィールド種目も含め全員入退場エリア（100m スタート付近）を通過すること。

## 7 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、1名につき2枚配布する（胸・背用）（競技規則6条7・8）。
- (2) アスリートビブスは、交付された大きさのまま付けること。ただし、跳躍競技は胸・背いずれかに付けるだけでもよい。
- (3) トラック種目では、腰ナンバーカード（必要な競技者には、受付で配布された袋に入れてあるので事前に確認すること）を右側の腰に確実に付けること。

## 8 競技について

- (1) 招集完了（入退場エリアにて最終点呼）後は練習を含めすべて競技役員の指示に従うこと。
- (2) 本競技場は全天候舗装である。スパイクのピンは11本以内、長さは9mm（走高跳・やり投は、12mm）を超えてはならない。また、スパイクの直径は先端近く（少なくとも長さの半分）で4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。
- (3) 他の競技者との握手による接触や会話を禁止する。
- (4) 自身の競技、試技や準備以外はマスクを着用すること。
- (5) トラック競技

- i. レーン順は、プログラム記載順による。
- ii. スタート・インフォメーション・システム(SIS)を使用しないため、スターティング・ブロックの使用が必須のクラスにおいては、AR・WRが認められない。
- iii. 短距離種目では、衝突事故を防止するためフィニッシュ後も自身のレーンを走ること。
- iv. プログラム進行上支障をきたす場合は、競技を中止させる場合がある。
- v. 3000mSC・5000m・10000m競走では下記のとおり制限タイムを設ける。

	クラス	ゴール制限タイム
男子3000mSC	選手権	12分30秒
男子5000m	選手権	19分00秒
女子5000m	選手権	25分00秒
男子10000m	選手権	40分00秒

※最後の1周に入る前に制限タイムを超えた競技者は、競技役員の指示により直ちに競技を終了すること。それぞれの制限タイムを超えた場合は、途中棄権とする。

- vi. フィニッシュ後、競技役員よりマスクを受け取り着用すること。

## (6) スタート

- i. スタートの合図はすべて英語（「On Your Marks」「Set」）で行う。
- ii. トラック競技はすべて写真判定システムを使用する。
- iii. 競技規則17条のとおり、1回目の不正スタートで失格となる。
- iv. 400mまでの種目及びリレー種目のスタートについては、スターティング・ブロックを使用しなければならない。

- v. (入退場エリア) 最終点呼役員にスターティング・ブロックの位置を示す指定の「補助申請書」を提出することにより、競技者に代わり競技役員がスターティング・ブロックを設置することができる。
- vi. ルールにないアシスタントの入場(例えば、曲走路スタートのレースにおいて、スターティング・ブロックを設置の際、角度などの細かい指示が必要な場合など)を希望する場合には、リクエスト・フォームに必要事項を記入し、招集完了時刻の1時間前までにT I Cに提出すること。

#### (7) フィールド競技

- i. 走高跳において、練習の高さ、競技開始の高さ及び競技開始後の上げ方については、競技役員と競技者が協議のうえ決定する。
- ii. 走幅跳、三段跳およびやり投においては、(入退場エリア) 最終点呼時に助走路に置くマーカーの位置を示す指定の「補助申請書」を提出することにより、競技者に代わり競技役員がマーカーを設置することができる。
- iii. フィールド競技において、後半3回の試技順は前半3回までの試技で記録した成績の低い順とする。
- iv. 投てき用具については、原則として競技場備え付けの用具を使用する。ただし、競技場備え付け投てき用具リストにないもの、個数が十分でないものは、1人上限2個まで、WA 認証品で技術総務の検査に合格したものに限り持ち込みを認める。ただし、当該用具は主催者で借り上げ、参加競技者全員が使用できるものとする。
- v. 投てき用具の持ち込みを希望する競技者は、当該種目の競技開始2時間前までに「T I C」に「投てき用具検査申請書」とともに投てき用具を提出すること。受け付けた投てき用具については「預り証」を発行する。受け付けた投てき用具は、競技終了後、預り証と引き換えに「T I C」で返却する。
- vi. 投てき競技に参加する競技者でタンマグなどの滑り止めが必要な場合は各自で用意し、他の競技者と使いまわしをしないこと。

- (8) 競技規則8条2および17条5による警告を2回受けた競技者は失格とし、本競技会における以後のすべての種目に出場できなくなる。

#### 9 表彰について

- i. 選手権クラスは、各種目の第1位に選手権章メダル、第2位・第3位にはメダルを授与し、第8位までを表彰する。また、8名に満たない実施種目に関しては、マイナス1システム(例えば7名のエントリー種目の場合は、6位までの選手を表彰対象とする)を採用する。
- ii. 感染症予防対策として競技場での表彰式は行わない。表彰物はT I Cで渡す。

#### 10 ドーピングコントロールテスト

- ① 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
- ② 本競技会参加者(18歳未満の競技者含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となるこ

とに同意したものとみなす。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなす。

- ③ 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯すること。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト（<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>）からダウンロードできる。18歳未満の競技者は、ドーピング検査の対象となった際には、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査終了後7日以内にJADA事務局へ郵送で提出すること。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続きに一切影響がないものとする。
- ④ 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- ⑤ 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意すること。
- ⑥ 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（<http://www.playtruejapan.org>）にて確認すること。

## 11 抗議と上訴

競技中の判定について、競技者自身が審判長に対し、競技場所で直ちに抗議できる。競技後の抗議は、記録の公式発表から30分（QRコードでの記録表示時刻を基準とする）以内に競技者自身または代理人がTICに口頭で申し出る。抗議は審判長が検討し、TICを通じて裁定を伝える。この裁定に不服がある場合は、「上訴申立書」に記入のうえ、預託金（2万円）を添え、TICを通じてジュリー（上訴審判）に申し立てを行うこと。

競技に対する抗議については、選手受付時にTICでお渡しする「チーム代表者ID」を着用し、TICにて行うこと。このIDを着用しない者の抗議については、受付を認めない。

## 12 一般注意事項

- ① トレーナブースは開設しない。
- ② 競技結果は、速報サイトに掲載する。

・パソコン・スマートフォン版：

URL: <https://www.jidaf.org/2018-id-2>



- ③ プログラムに誤記がある場合は、プログラム訂正用紙により、すみやかにT I Cに申し出る事。
- ④ 各種目の世界記録およびアジア記録については、令和4年2月1日時点でWorld Para Athletics ウェブサイトに掲載されている記録を引用したものである。
- ⑤ 撮影についてのお願い：悪質な写真・ビデオの盗撮から競技者を守るため、本大会中撮影が許可されるのは下記の者に限る。

- 1) 大会運営本部より許可され、腕章またはビブスを付けたカメラマン
- 2) 大会出場学校、クラブ等の関係者
- 3) 当該選手の保護者、家族等
- 4) 大会事務局

また、撮影禁止区域が設定されている場合は、その区域からの撮影はできない。  
なお、場合によっては、上記に該当するか確認することがある。

- ⑥ 大会期間中撮影した画像・映像は、主催者および協賛社の広報、またその他パラ陸上競技普及に関する広報に使用することがある。
- ⑦ 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡すること。ただし、大会では応急処置しかできないので、参加にあたっては医師の診断を受けるなど、自己の責任において健康と安全に十分留意すること。なお、主催者において期間中の傷害保険に一括加入しているため、この保険が適用される場合がある。
- ⑧ 救急車などの緊急車両を手配する事態が起きた場合は、一刻を争う事態でない限り競技会運営本部および競技場側を通じて行うものとする。

#### ⑨ 競技場

- i. 当競技場の開門および閉門時刻は以下の通り。開門8:00 閉門18:00 (予定)
- ii. 競技場は正面スタンドのみ開放する。芝生スタンドへの立入は禁止する。
- iii. マスク着用を義務とし、スタンドでの飲食並びに声を出しての応援を禁止する。拍手のみ可能。
- iv. 更衣室や更衣室正面の雨天走路に待機場所を設けることはできない。また、雨天走路でのウォームアップは不可とする。
- v. 貴重品及び荷物は各自で管理すること。万一の事故があっても責任は負わない。
- vi. 届けられた遺失物はT I Cで保管する。なお、保管期間は競技終了までとする。
- vii. 競技会場における広告及び展示物に関する規定にもとづき、スタンドを含む競技場内への応援用のぼり、旗等の掲出・展示は一切認めない。
- viii. 競技場の環境美化に協力する事。各自出したゴミは持ち帰ること。

#### ⑩ 更衣室など

- i. 正面エントランスより、リストバンド着用者のみ、更衣室へ入場することができる。
- ii. マスクを着用し、私語を慎み、更衣終了後は速やかに退室すること。
- iii. シャワールームの使用は禁止する。
- iv. 選手更衣室での更衣には、極力三密を避けて使用のこと。
- v. 使用後は環境美化活動にご協力いただき、ゴミは指定のゴミ箱等に捨てること。

⑪ 靴底の厚さが規定を超えるシューズでの出場は認められない。

種 目	ソールの最大の厚さ (TR5.5) に基づく)	補 足
フィールド種目 (三段跳除く)	20mm	全ての投てき種目、高さの跳躍及び、三段跳を除く長さの跳躍種目に適用。全てのフィールド種目において、競技者の前の部分の中心点のソール厚さは、競技者のかかとの中心点のソール厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	競技者の前の部分の中心点のソール厚さは、競技者のかかとの中心点のソール厚さを超えてはならない。
800m 未満のトラック種目 (含むハードル)	20mm	リレーにおいては、各走者の距離で本規則が適用される。
800m 以上のトラック種目	25mm	リレーにおいては、各走者の距離で本規則が適用される。